（別添２）

【大分県　大分市】

ネットワーク整備計画

１．必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（%）

大分市の小学校数：55 校（分校含む）、中学校数：28 校（分校含む）、義務教育学校：1 校

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：84 校（100%）

２．必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

当市では、令和 2 年度にネットワークを構築する際、児童生徒数が 500 名を超える大規模モデル校で 10Gbps、それ以外の中・小規模モデル校で 5Gbps の回線契約（ベストエフォート型）を結び、それぞれのモデルに応じた精度を持つルータ、スイッチ、アクセスポイント等のハードウェア機器を各学校に設置しました。また、学校から直接インターネットに接続する「学校個別接続方式」を採用しており、ボトルネックが生じにくいことから、これまでに、一斉に使用することで画面が固まるなどの事象は生じていません。

帯域確保のために学校規模に応じて回線速度等を変更

	大規模校	中規模校	小規模校
クラス数	30 程度以上	20～29 程度	19 程度以下
児童数	500 超	400～500	400 未満
回線速度	10Gbps	5Gbps	5Gbps
校内 LAN 幹線	1Gbps×4	1Gbps×4	1Gbps×2

通信速度確保のために、学校から直接インターネットに接続する「学校個別接続」方式で構築

令和 3 年度の運用開始以降、ネットワークの運用保守事業者により、日々、通信環境の監視やメンテナンス活動を行うなど、日常的にネットワーク環境の維持に取り組んでおり、全学校で十分な通信速度を確保していることを確認しています。

なお、学級数増や用途の変更等でアクセスポイントが必要となった教室には、随時、追加設置し、その都度ネットワーク構成を再検討しています。追加設置完了後は、校内の速度測定により、十分な速度が確保されていることを確認するなど、ネットワーク環境の維持に努めています。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワーク運用保守により、ネットワークアセスメントと同等の活動が日常的に実現できており、現時点で問題点はないと考えております。しかし、今後、デジタル教科書やデジタル教材の利活用が本格化し、文部科学省 CBT システムによる全国学力・学習状況調査など、大容量の通信が発生することが想定されることから、有識者や事業者にアセスメントを依頼することも検討していきます。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には当該課題の解決の方法と実施スケジュール

現時点では、解決すべき課題はないと認識しています。